

Ⅰ (5点)

親しみを寄せる伊志野の倍額で植木屋から樹を買い、苗木しか売れない伊志野を傷つけるようで、順吉は後ろめたかったから。

- *①は、必須ポイント
- *「順吉は」と感じたから。」等、主観的理由以外は不可。
- ① 植木屋から高い樹を買って・苗木しか売れない伊志野を・傷つける（ことになるかもしれない） 3点
- *「傷つける」は、「悲しませる」も可。過去形は、不可
- ③ 親しみを寄せる伊志野に対して・うしろめたい 2点

Ⅱ (5点)

伊志野の悲しみに気づかないしげのは、気が弱く伊志野への自責を示す順吉に、やむを得ないと割り切らせ、慰めたかったから。

- *①もしくは②のいずれか一つは、必須ポイント
- *「しげのは」と感じたから。」等、主観的理由以外は不可
- ① しげのは、気の弱い順吉を・自責の必要はないと・慰めた 3点
- ② しげのは、割り切っている（割り切るべきだと伝えたい） 1点
- ③ しげのは、(苗木のことでの) 伊志野の悲しみに気づいていない 1点

Ⅲ (5点)

低い樹が不満で他の植木屋に頼んだが、伊志野の言う通り檜葉は伸び、順吉の後ろめたさが一年で一層深まったということ。

- *①もしくは②のいずれかは、必須ポイント
- ① 構文＝順吉のうしろめたさが・一年で一層深まった 2点
- *「うしろめたさ」は「傷つけた」という思い」「後悔」等も可
- ② 樹の低さが不満で他の植木屋を頼んだが・伊志野の言葉通り・檜葉が伸びた（ので、頼まなければよかったという思いが増すことになった、の意） 3点

Ⅳ (5点)

引け目を感じ、誇りを守ろうとする態度に対して、共感ともぞうありたいという思いとも判然としない、心ひかれる心情。

- *①・④は、必須ポイント
- ① 「なつかしき」＝心ひかれる（親しみを覚える）心情 1点
- ② 引け目を感じて・誇りを置く 2点
- ③ 「同感とも羨望とも・つかぬ」＝共感するのとも、ぞうありたいと思うのとも・はつきりしない 2点